



足立区立六月中学校

第 1 号
令和 3 年 4 月 1 7 日

校長 塚原 洋

令和 3 年度スタート

令和 3 年度のスタートとともに学校に生徒の元気な声に戻ってきました。春季休業中に事故や事件の報告もなく、始業式を迎えられたことは大きな喜びです。

1 年前は始業式や入学式を行えず休校が続き分散登校していました。当たり前前の生活がどれほど貴重なものであるかと痛感した 1 年前だったはずですが。

教職員と生徒の努力だけでなく、ご家族や地域の皆様の協力により、新型コロナウイルス感染症を拡大させずに 1 年間を過ごすことが出来ました。今後ご理解とご協力をお願いいたします。

始業式では生徒の表情は、2 年生と最上級生である 3 年生のものとなったように見えました。沈黙を守り始業式に臨む姿から生徒たちの内なる成長を感じたのです。

4/7 (水) の入学式に新入生 151 名を迎え、全 14 クラス 469 名のスタートです。

生徒たちには進級を機に次のような話をしました。「学校という場所は世の中であり社会と同じです。人々が安全に安心して暮らすためには法律があり守られています。学校の中でも規則や約束を守り、安心して過ごすために社会や世の中で認められていない行為は学校の中でも行ってはいけません。3 年生は学校の顔、2 年生は学校の心臓として考え行動してほしい。安全に安心して学校生活を送り目標をもち、新年度が『始まった』ではなく、何かを始めることが大切です。」

大切なことは、目標に向かって努力を始め、挑戦することです。コロナ禍においてピンチはチャンスであり、新しいことにチャレンジすることで変化していく時です。六月中の生徒とともに我々教職員も変化しチャレンジしていきたいと思えます。入学式「式辞」の一部を掲載します。



新入生の皆さん、学校は何をすることでしょ

う？ 考えてみましょう。そうです。勉強をすることで

まずは一日の大半を占める勉強での積み重ねをしていきましょう。中学校生活には、今まで経験しなかったこと、新しく学ぶこと、挑戦することが、たくさんあります。挑戦し努力することで皆さんの世界は広がり、学ぶこと、挑むことの全てが、皆さん自身の生きる力となっていきます。

しかし、努力をしてもいつもよい結果とは限りません。逆に失敗が多く、結果がすぐに現れるとも限りません。

それでも挑戦を続け、努力を重ね、経験を積むところから本当に価値あることが生まれてくると私は考えます。

先日、競泳の池江璃花子選手が東京オリンピック出場を決めました。急性リンパ性白血病と診断されてからわずか二年。レース復帰から七ヶ月あまりでの出場決定。そこには、見えないところでのすさまじい努力があったのだと想像できます。そして、インタビューでは「努力は必ず報われると思った」と語っています。皆さんにも努力を重ねることで必ず出来ることが増え、報われるときがあるはずですが。

2. 3 年生にも伝えたいことです。読んでみてください。

≪4月7日の入学式は、天候にも恵まれ気持ちの良いスタートが切れました！≫1年生の前途を祝うかのような青空です。



◇令和3年度所属教職員◇

始業式と入学式において教職員の異動・転入の紹介に続き、各学年の担任・副担任を発表しました。『チーム六月中』のスタートです。教職員一同一致団結して指導してまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

【第1学年】学年主任 白田亜希

学 級	1組	2組	3組	4組	5組
担 任	井上嗣崇	田中耕平	吉岡みちの	平井 崇	小澤美沙姫
副担任	井上 智	白田亜希	落合充利	白田亜希	井上 智

【第2学年】学年主任 杉本峰子

学 級	1組	2組	3組	4組	5組
担 任	湯田裕亮	上野安璃	吉澤政人	岩崎壮亮	工藤恵子
副担任	有馬勇人		杉本峰子	天野雅士	

【第3学年】学年主任 石橋敬子

学 級	1組	2組	3組	4組
担 任	石橋敬子	野中有里香	池田健太郎	正岡祥樹
副担任	小木曾久泰	大木 雄吾		小木曾久泰

【保健室】 保健主任 蓼内智子

【特別支援教室】 担任 石川大輔 影山浩恵 専門員 下 仁

【都講師】 高木恒平（社会） 後藤太一（数学） 岸部千鶴子（英語） 山崎壺貴（保体）

【事務室】 課長代理 中川利佳 副校長補佐 小川直美

栄養士 青木八重子 事務補助 藤田公子 川尻秀子

事務専門員Ⅱ 小林八重子

【図書室】 学校図書館支援員 瀧川三千子

【スクールカウンセラー】 （区）下飼手龍一 （都）逸見知美



◇各学年主任より◇

1 学年主任 白田亜希

ご入学おめでとうございます。

入学して10日ほどになり、六月中学校での生活に少しずつ慣れてきた様子が見られます。時間を守って行動し、新しい生活に意欲的に取り組もうとする姿勢が、いたるところで感じられる毎日です。

学年通信のタイトル、『一歩一歩』は、生徒の皆さんの活動をさまざまな形でお伝えしながら、少しずつ成長する様子を共に感じていただけたら、という思いでつけました。それぞれがやらなければならない一つひとつのことを着実にこなしていきながら、ゆっくりでいい、『一歩一歩』成長していけるよう、支援していきたいと思えます。

1年間、よろしく願いいたします。



2 学年主任 杉本峰子

公立中学は地域に生きる子ども達が集う場です。多様な環境や状況の中で懸命に生きている166人の2学年。大人である教師が言わずとも、学年の仲間を思いやり助け合う姿が多く見られ、成長を実感する二年目の春がスタートしました。

世界中が新型ウィルスに翻弄される中、大人になった時にどのように社会と関わるか、中学生に自身の将来像は描きづらいかもしれません。学び方や生き方に正解はありません。未来を生きる中学生には多くの選択肢が待っています。そして、東京には他道府県の若者が羨むほどの多くのチャンスもあります。緑学年の全員が豊かに人生を築けるよう、学年教員8名が Team となって全力で支援します。保護者の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

3 学年主任 石橋敬子

第3学年主任の石橋敬子です。今年度もよろしく願いいたします。

4月6日(火)の始業式では、最上級生としての姿を見ることが出来てとても嬉しく思いました。昨年度のスタートはコロナ禍での分散登校から始まりました。振り返ると「時間はあっという間に過ぎていくものだな。」と実感いたします。6月10日から予定されていた修学旅行が延期となり、今後の学校行事もどうなるか分かりませんが、3年生には充実した日々を過ごしてもらいたいと思えます。また、自分の夢の実現に向け、これから様々な心の葛藤が出てくる中で、悩みや不安を抱える子供たちを教職員も共に側にいて支えていきたいです。保護者の皆様には今までと変わらず、ご理解、ご協力をいただければ幸いです。時間の流れは止められません。3月の卒業式では、立派に巣立っていく姿を笑顔で見送りたいです。



<4月13日 区学力調査>真剣です。
3年生は受験へのスタートです。



<4月6日 始業式> 静寂に包まれています。
2年生の姿勢も素晴らしいですね。

トイレ改修工事のお知らせ

本年度の夏休みに西側トイレの改修工事が入ります。洋式を中心としたトイレになります。工事期間は不便となりますが秋には新しいトイレとなります。ご期待ください。